

# 総合都市交通体系マスタープランについて

資料5

## 本市の交通関連計画の策定の経緯

平成16年度：さいたま市総合都市交通体系マスタープラン基本計画（以下、「SMARTプラン」）の策定

平成18年度：旧岩槻市の合併に伴うSMARTプランの改定

平成22年度：さいたま市都市交通戦略（以下、「都市交通戦略」）の策定

平成28年度：都市計画マスタープランの策定や交通政策基本法の施行等、交通関連方針を踏まえたSMARTプランの改定



令和7年で改定から10年が経過するため改定の検討に着手

### ◀ 前回の改定からの社会情勢の変化等 ▶

- 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律や第2次交通政策基本計画の策定等の関連法令等の改正
- 新型コロナウイルスの拡大等をきっかけとしたテレワークやEコマースの進展による移動を伴わない活動や場所に縛られない活動が増加
- 人々の暮らしや働き方の行動変容等が起きており、活動と移動の乖離が進んでいる。
- 「MaaS」や自動運転といった新たなモビリティサービスの導入に向けた動きの活発化

## 今回の改定に向けてのポイント

1. 多様なステークホルダーが将来ビジョンを共有できる検討プロセスと体制の構築
2. 将来の公共交通を支える若年層や子育て世代層への市民参画機会の創出
3. 市民や交通事業者等に訴求力のあるエビデンス及びコンセプトの作成
4. 望ましい計画体系の在り方を整理

# 総合都市交通体系マスタープランについて

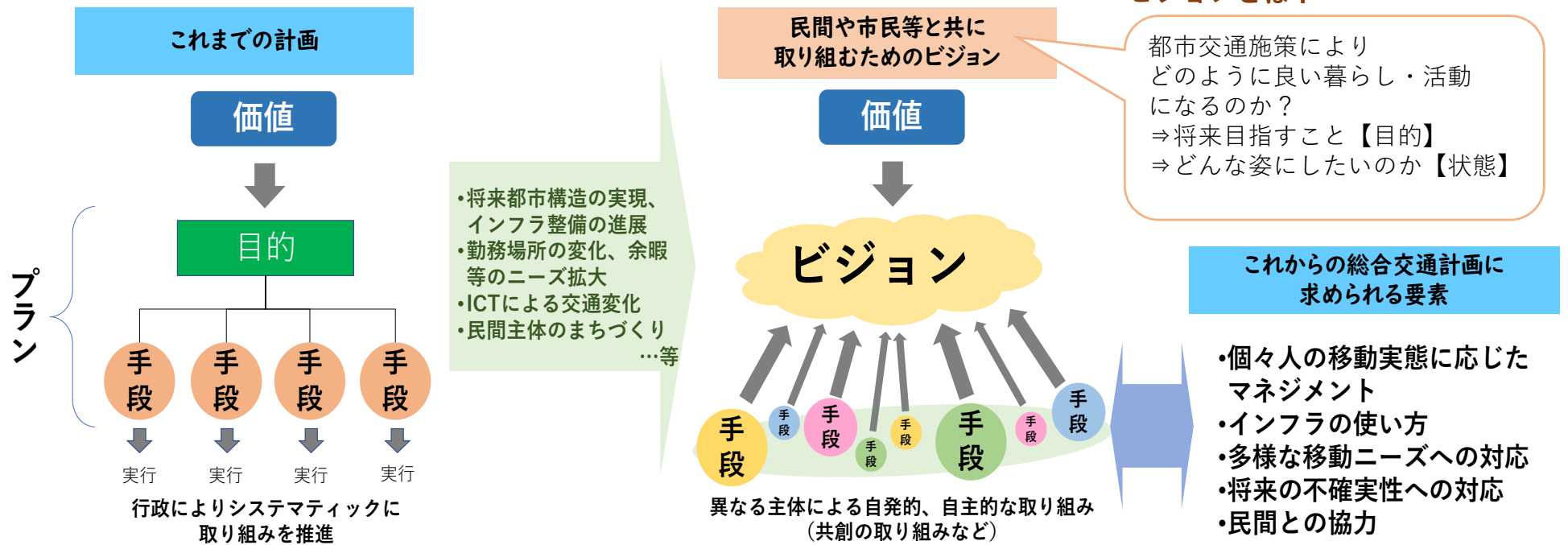
## 1. 多様なステークホルダーが将来ビジョンを共有できる検討プロセスと体制の構築

### <考え・ポイント>

- 目指すべき「ビジョン」を明確にし、多様なステークホルダーと共有することが重要  
 →ビジョンとは、多様な都市交通施策を実施することで、市民の暮らし・活動が、どのように良くなるのかを示したもの  
 (多様なステークホルダーが動くきっかけとなるものとして「将来ビジョン」を作成する必要があると考えています)

### ビジョンとは？

都市交通施策により  
 どのように良い暮らし・活動になるのか？  
 ⇒将来目指すこと【目的】  
 ⇒どんな姿にしたいのか【状態】



## ■ 将来ビジョンの実現に向けたサービス水準等の検討

交通空白地区等の定義の見直しや理想と最低限のサービス水準（例：15分で生活利便施設にアクセス、20分に1本以上の運行頻度、最低1日に3本の運行頻度など）等、都市構造とあわせて検討を進めていく

# 総合都市交通体系マスタープランについて

## 2. 将来の公共交通を支える若年層や子育て世代層への市民参画機会の創出

### <考え・ポイント>

- 若年層や子育て世代層など将来の公共交通を支える方たちの行動や課題について分析し、それに対応していくことを明確にします。
- それらの分析結果を用いて、多くの市民の方に参加いただき、今後の交通を考えるきっかけをつくることで、自発的な行動変容を促すMM（モビリティマネジメント）につながるような市民参画機会を創出していきます。



■オープンハウスにおける動画資料の活用



■市内大規模イベントでのコミュニケーション

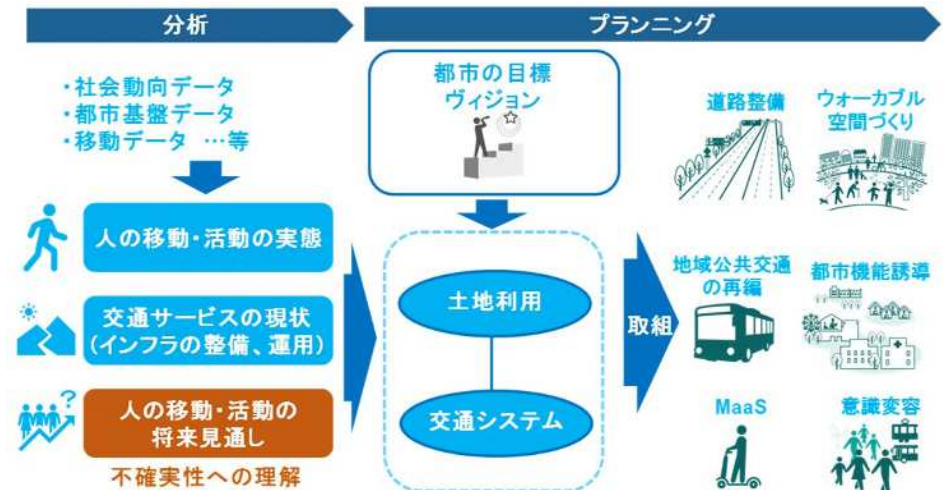


■子育て世代向けツールの活用

## 3. 市民や交通事業者等に訴求力のあるエビデンス及びコンセプトの作成

### <考え・ポイント>

- ✓ 多様なステークホルダーが理解し、説得力の高い計画とするためには、交通の現況だけではなく、人々がどのように暮らしているかを把握することが重要と考えます。
- ✓ そのため、SMARTプランの各種データを最新時点に更新することに加え、高齢化の進展や新たな生活様式の定着等による働き方や活動パターンの変化、都市構造の変化などによるトレンドや将来の都市構造の変化を見据えた分析が可能なデータベースを構築します。



# 総合都市交通体系マスタープランについて

## 4. 望ましい計画体系の在り方を整理

- ✓ さいたま市の交通に関する全体方針は、SMARTプランが担っていますが、**関連する計画は時勢や法制定等に合わせて増加しています。**
- ✓ 策定されるタイミングも異なるため、新規計画が既存の計画を位置づける一方、**既存計画は改定や見直しまで新規計画を位置づけないなど、不整合な状況**が生まれています。
- ✓ このように、交通分野全体で計画の整合が図れているか、また**都市交通マスタープランに期待されている役割を担えているか、不明確**になっていると認識しています。
- ✓ そこで、SMARTプランの改定に当たっては、都市計画マスタープランと連携されるべき内容を整理するとともに、**既存の各種計画との関係性を整理**します。
- ✓ 次に、**交通関連計画全体の進捗管理やマネジメントを意識した総合的な計画体系構築を検討**します。

### ■現在の計画体系の課題と在り方

#### 課題

- ✓ 多様な部署の多様な計画が併存して存在
- ✓ 市の計画間の相互関係が複雑であり役割分担が明確でない

#### 計画体系の在り方のイメージ

- ✓ 都市交通全体を包含する総合的交通計画を整理（交通関連計画のビジョンの統一、現状分析や課題認識も共通化）
- ✓ 上記の全体ビジョンと分野別編が各計画等として読み取れるような体系の構築

### ■交通関連計画の進捗管理・マネジメントの検討

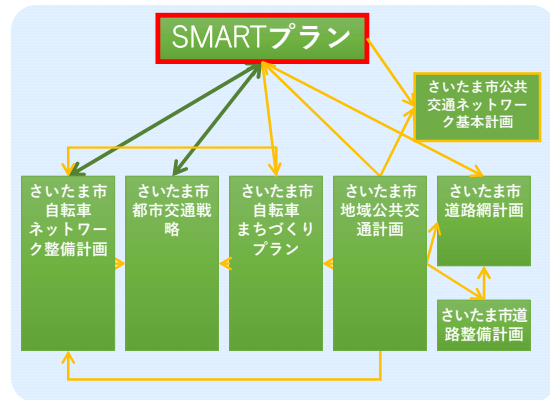
#### 課題

- ✓ SMARTプラン策定後に関連計画を見直すことが望ましいが、個々に見直され全体関係が複雑化

#### 進捗管理・マネジメント

- ✓ 統合的計画とすることで、各計画の役割が明確化し進捗管理が容易
- ✓ ①分野別編見直し時は、②総合交通体系編の見直し、③他の分野別編・交通基盤編も必要に応じて見直せる体系となり、交通関連計画全体のマネジメントが可能

現在の交通関連計画の体系

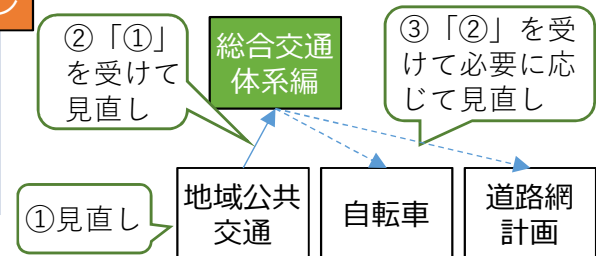


← 記載あり(片方)   ←→ 記載あり(両方)

交通分野の計画の統合イメージ

#### さいたま市総合交通計画

- 第1部 総合交通体系編 → **地域公共交通計画**
  - 第2部 分野別編
    - 1 地域公共交通 → **地域公共交通計画**
    - 2 自転車 → **自転車まちづくりプラン**
    - 3 新しいモビリティ・MaaS
  - 第3部 交通基盤編
    - 1 道路網計画
    - 2 結節点・拠点計画
- ②分野別編を受けて見直し



# 総合都市交通体系マスタープランについて

## 今後のスケジュール

